

平成26年6月15日
今週のベストショット



青松園A 三苦ホーネッツ 対 奈多クラブ

奈多クラブ一番今林賢人選手、二試合連続の先頭打者HRが決勝点に！

写真：レッドサンデーズ 八島久徳

青松園B ウインズ、序盤の集中打でジャガーズを粉砕！

新町ウインズ (2勝2敗1分) 0 6 0 0 2 8 城戸○ー今林

塩浜ジャガーズ (0勝4敗0分) 1 1 1 0 0 3 荒木●、内田一堀内

3BH：内田(塩浜ジ) 2BH：野田(新町ウ) 盗塁：長岡、泉(新町ウ) 荒木(塩浜ジ)

先攻の新町ウインズは、3つの四死球で二死満塁のチャンスを得るも、六番野中選手が内野フライに打取られ無得点に終る。一方、塩浜ジャガーズは先頭の内田選手がレフトオーバーの三塁打で出塁すると、続く2番田中選手の遊ゴロの間に判断良くホームイン。幸先よく先制点を奪う。しかし、直後の二回表、ウインズは5本の長短打に足を絡め、打者一巡の猛攻で6点を奪い逆転に成功。このまま引き下がれないジャガーズは二回、三回と1点ずつ返し、さらにエース内田投手をマウンドへ送り、反撃のチャンスを探る。しかしながら、五回表にウインズのクリーンナップに三連打を浴びダメ押しとなる2点を奪われ力尽きた。悔やまれるのは、三回裏のジャガーズの攻撃。レフトへの犠牲フライで内田選手がホームイン。その直後、外野からの返球が見えなかったのか、一塁ランナーが二塁を蹴りオーバーランしてしまい二三塁間で挟まれアウト。もしそれが無ければ試合の流れは一気にジャガーズに傾いていたかも知れない。この1プレイが、まさに勝負の分れ目だったように感じた。

(記事、写真：三苦三球会 中村元)



一回裏、ジャガーズ内田選手三塁打から先制のホームイン。



二回表、ウインズ一番桐島司選手が満塁で逆転タイムリー。



二回表、ウインズ九番安藤選手が快足を飛ばしてホームイン。



ファウルフライに果敢に飛び込む、ジャガーズ堀内捕手。



三回裏、ジャガーズ一番内田選手、本日2本目のヒット。



走者を一二塁において、三番稗田選手のナイスバント。



五回表、ウインズ九番安藤選手2本目の内野安打。早い！



五回裏、二番田中選手のセーフティーバントが決まる。



隙を付き、二塁を陥れるジャガーズ田中選手。



ジャガーズ先発の荒木投手。



二番手としてマウンドに上がった内田投手。



粘りのピッチングで勝利したウインズ城戸投手。

雁レク軟式3 奈多サンデーが五回コールドで勝利！

ブルーマーリンズ（0勝4敗）10000 1 綱脇●、横山、綱脇ー中村

奈多サンデー （4勝1敗）30152 11 塚本○ー田中、長浜

盗塁：川上（2）、野々下、守仲（奈多サ）

一回表ブルーマーリンズは、相手2失策から三番尾田選手のセーフティーバントが内野安打となり、無死満塁のチャンス。しかし、後続が続かず6番森選手の内野安打で1点止まり。逆に奈多サンデーは一回裏、同じような相手失策から3点をもぎ取り、対照的な試合運びとなる。二回表のブルーマーリンズは、九番中村選手が右翼へのヒットを放つも、ここでも後続が倒れ得点できず。サンデーは、三回裏にも1点を追加し、四回裏には6つの四球やWP等で一挙5得点とし、試合を決める。五回裏の攻撃も、ブルーマーリンズが崩れ2点を追加し、五回コールドで試合終了。今日のブルーマーリンズは、6安打とサンデーの4安打を上回るものの、多くの失策や四球、WPなどで自ら崩れてしまった。次回は立て直し、ミスの少ない緊迫したい試合を期待したい。

（記事、写真：三苦フレンズ 肥喜里一征）



奈多サンデー先発塚本投手。



一回表、セーフティーで満塁のチャンスを掴む尾田選手。



一回表、Bマーリンズ森選手の絶妙な内野安打で1点を先制。



ブルーマーリンズ先発の綱脇投手。



三回表、ライト前ヒットを放つ谷山選手。



三回表、足を懸命に伸ばしアウトを取る鳥羽一塁手。



三回裏、執念でポテンヒットをもぎ取る野々下選手。



三回裏、セーフティーバントで相手を崩す川原選手。



三回裏、全てアウトをライトフライで処理する友重選手。



四回表 軽快にセカンドゴロを処理する大川選手。



四回裏、右飛タッチアップで三塁を奪う川上選手。



五回表 軽快な守備を見せるショート秋山選手。

青松園A 奈多クラブ一番今林賢人選手、二試合連続の先頭打者HRでスミ1勝利！

三苫ホーネッツ（4勝1敗）000000 0 井手●、矢野ー広木

奈多クラブ（3勝1敗）100000 1 今林瑠生○ー安河内

HR：今林賢人（奈多ク）

一回表、奈多クラブ先発の今林瑠生投手は二塁にランナーを背負うもホーネッツ四番広木選手を打ち取り、無失点発進。一方ここまで全勝の三苫ホーネッツの先発は井手投手。一回裏、奈多クラブ先頭の今林賢人選手に左越えの二試合連続先頭打者HRで先制を許す。しかし両チームの得点はこの1点のみ。二回以降どちらも2安打で三塁にランナーを置いたのは一度だけという息詰まる投手戦は、0-1で奈多クラブが制しホーネッツに土を付けた。難しい打球も淡々と処理する両チームの守備力の高さが伺えたが、これも投手の球威が打者を上回っていた証拠。特に奈多クラブのバント処理時の一、三塁手のダッシュはそれを裏付けるものだ。ホーネッツは何とか足を絡めて瑠生投手攻略を模索したが、その球威の前に沈黙。ホーネッツ二番手の矢野投手も奈多クラブ今林祐将選手を見逃し三振に取るなどその球威は負けていなかった。（記事、写真：レッドサンデーズ 八島久徳）



外野に指示を出すホーネッツ先発井手投手。



ホーネッツの足を警戒する今林祐将、瑠生、阿部選手。



二試合連続、先頭打者HRの今林賢人選手。



今週は彼女が見なくても打ちました！



三塁コーチズボックスの凛々しい奈多クラブ今林辰也監督だが、ファールボール直撃でお茶目な一面を披露。





初回、痛烈なサードゴロを捌くホーネッツ矢野三塁手。



チーム初安打の六番三浦選手、無死一二塁とするも・・・。



二回裏、高めの難しい球をセンター前、八番砂場選手。



四回裏、痛烈な三遊間ヒットを放つ六番安河内選手。



ナイスプレイ後に足が痛そうな上野遊撃手。



三回からリリーフして無失点の二番手矢野投手。



四回裏、右飛をエラーして二死二三塁にしてしまう。



五回表、先頭でヒットを放つ今田選手だがホームが遠い。



五回裏、勝ち越しを狙い今林瑠生選手の痛烈なサードライナーが塚三塁手を襲う。



試合を見守るホーネット中村監督と浅川コーチ。



安河内捕手、今林瑠生投手、今林賢人選手でパチリ！

奈多グラウンド コンスタントに得点を重ねたフェニックスが快勝！

ソルトベスターズ（2勝3敗） 1 0 0 0 0 1 池見○、今林（勇）一実延（新）

奈多フェニックス（4勝1敗） 1 4 3 3 × 1 1 中村（祐）●一酒井

HR：西藤（奈多フ） 3BH：今林（勇）、池見（奈多フ）

2BH：森（哲）、田中（広）（ソルト）今林（勇）、実延（彰）、太田（奈多フ） 盗塁：今林（勇）

一回表ソルトベスターズは二死から三番森（哲）選手の右中間二塁打で出塁すると、続く四番田中（広）選手の右線二塁打で先制。しかしその裏フェニックスは一死から二番西藤選手の右ソロHRですぐに同点。すると二回裏フェニックスは四球で塁を埋め、連打で追加点。三回にも四球の走者を置いて、七番池見選手の左中間三塁打、エラーで出塁した走者を置いて一番今林（勇）選手の右中間三塁打で3点。続く四回にもフェニックスは四球や連打で3点を挙げる。一方ソルトベスターズは初回こそ得点を挙げたが、二回以降は得点を挙げられず二回以降は安打もわずかに1本だった。最終回に登板した今林（勇）投手もきっちり三人で締め、フェニックスのすっかり板についた好投手リレーで勝利を手にした。（記事：雁ノ巣ライナース 明瀬 旭、写真：鳥越 康介）



四回3安打1失点と好投したフェニックス池見投手。



ソルトベスターズ先発の中村祐人投手。



一回表、先制の二塁打を放ったソルト四番田中広孝選手。



一回裏、同点本塁打を放ったフェニックス西藤選手。



6点目となる適時三塁打を放ったフェニックス池見選手。



この直後にソルト三塁手八柄選手のファインプレーが…



最終回をしっかりと締めくくった二番手今林勇太投手。



試合終了。フェニックスの快勝！

第7週編集後記

WS Lの皆さん、コンニチハ！

第7週6月15日は4試合が行われました。

青松園Bの新町ウインズ対塩浜ジャガーズ戦は、エース不在のウインズ先発城戸投手が踏ん張りを見せた。ウインズは一～三回と毎回1点ずつ失うも、二回に5本のヒットで逆転、五回に4安打でダメ押しと集中打を見

せ、8-3で勝利。打撃もいい城戸投手だが、この試合では打線から外しピッチングに専念させたウインズ久保田監督の作戦勝ち。ジャガーズは、先発荒木投手が二回被安打5、5四死球、6失点と先発の役割を十分果たせないまま大量失点をしてしまい、内田投手につないだ訳だが、投手交代のタイミングが今年の課題だ。

雁レク軟式3のブルーマーリンズ対奈多サンデーズ戦は、前回メンバーが揃わずレッドサンデーズに1敗を喫した前年度優勝の奈多サンデーズは、今回14人のほぼフルメンバーが集合。今季打撃不振の木下選手を九番に下げ、新規加入の川上選手を一番に据えたサンデーズは、わずか4安打ながら相手の2桁の四球とエラーにより6安打のブルーマーリンズに1-11のコールド勝利。連敗はしなかったもののサンデーズ守備陣にもエラーによる失点があり、先制を許す展開。相手に救われる戦い方では今後上位チームとの対戦では厳しい戦いを強いられるのは間違いなく、チームをまとめ、ガツンと一言いう存在が必要だ。

青松園Aの三苦ホーネッツ対奈多クラブ戦は、奈多クラブ一番今林賢人選手の二試合連続の先頭打者HRの1点を今林瑠生投手が守りきり0-1で奈多クラブが勝利し、全勝のホーネッツは今季初黒星。ホーネッツ井手投手の出鼻をくじいた奈多クラブ打線だったが、代った矢野投手の力投を打ち崩せず追加点を奪えない。一方追いつきたいホーネッツだったが最後まで球威の落ちなかった今林瑠生投手の熱投の前にホームが遠かった。若手選手が充実しているように見えるホーネッツだが、今季の大幅なコンバートや交代選手の使い方などチーム内の混乱が見え隠れしているようで、まだしっくりとはきていないようだ。奈多クラブは持ち前の明るさに加えて新加入選手も活躍し、ベンチも充実している。今後この2チームにライナーズを加えた若い3チームを中心に優勝争いが展開しそうだ。

奈多グラウンドのソルトベイスターズ対奈多フェニックス戦は、初回ソルト三番森哲也選手、四番田中広孝選手の連続二塁打で1点を先制する。エースで四番のソルト中村耕一郎選手不在で中村三兄弟二男の中村祐人投手が先発。フェニックスは初回二番西藤選手のソロHRで追いつくと、二回から本領発揮。9本の長短打を絡めて計11点を奪ったフェニックスが1-11で勝利。

W杯サッカー日本代表は予選1敗1分で崖っぷち状態。ここからが本当の闘いです。どれだけの思いをぶつけられるのか？

しかし、日の丸を背負う重圧に負けずに、伸び伸びとプレーして欲しいです。

WSLも各選手、少なからず期待を背負うわけですが、伸び伸びとプレーしましょう。

梅雨の雨で、試合が延び延びになるのは勘弁してほしいですけど。